

## 特集

# 暮らしに役立つ図書館... 2

ご存知ですか? 県立図書館に専門家をお招きしています  
司法をもっと身近に 法テラス島根のご紹介

あなたのまちの図書館めぐり

浜田市立中央図書館

安来市立図書館

島根県中山間地域研究センター図書室…… 4

図書館の上手な使い方

調べもののお手伝いいたします。 …………… 6

メールで調査依頼・相談ができます! …… 8

「読みメンパーク in しまね」が  
開催されました! …… 8



島根県立図書館報

<http://www.lib-shimane.jp/>

# 図書館だより

2013

秋冬号

2013年12月10日発行  
第200号



島根県立図書館は

建築45周年をむかえました



# 暮らしに役立つ図書館

暮らしや仕事で困ったことを解決するために、インターネットを利用するだけでなく、確かな情報源である本や雑誌からヒントを得る人が増えているようです。しかし、専門的なことになると理解することが難しいと思いませんか。図書館では、様々な分野の講座を企画し、皆さんに専門的な知識をわかりやすくお届けしています。

「暮らしに役立つ図書館」。そんな図書館を目指しています。



## 県立図書館に

## 専門家をお招きしています

**安全・安心、健康、ビジネスなど、皆さんの暮らしや仕事に関わる講座を開いています。**

### これまでの開催事例

- ・「消費者月間講演会」(全3回)(島根県消費とくらしの安全室)  
食の安全(消費者庁)、お金について(島根県金融広報委員会)、ケータイ安全教室(NTTドコモ)
- ・「健康医学講座」受動喫煙について(松江赤十字病院)
- ・「経営力向上セミナー」インターネットを使った販路拡大(日本政策金融公庫松江支店)
- ・「しまね起業家スクール受講説明会」(しまね起業家スクール実行委員会)

## 定期的開催中



### 法テラス島根講演会 (法テラス島根)

成年後見制度、労働問題、消費者被害、交通事故など、身近におきる法的话题について弁護士から学びます。

### 行政書士無料相談会 (島根県行政書士会)

相続、遺言、離婚、お金の貸し借り、土地の売買など、身近におきた問題に相談する場を設けています。

## レポート 法テラス島根講演会 (第6回)

しっかり学べます。

- 日時** 平成25年9月7日(土) 13:30 ~ 15:30
- 演題** よくわかる刑事裁判のしくみ \*模擬裁判実施
- 講師** 柴山慶太氏 (法テラス島根常勤弁護士)  
新 知子氏 (法テラス浜田常勤弁護士)

裁判員制度の概要、刑事裁判の流れとルールについて、説明がありました。証拠に基づく判断や無罪推定の原則について詳しい解説の後、模擬裁判を行いました。

参加者全員が裁判員であるという設定で、証拠の信頼度について議論して、理解を深めました。



弁護士からの問題提起に、全員で議論しています

法テラス島根事務局長  
村川幸彦さんにお話を  
伺いました。

司法をもっと身近に

# 法テラス島根のご紹介

## 法テラスとは？

「国民に身近で、速くて、頼りがいのある司法」を目指す司法制度改革の柱として、総合法律支援法に基づき、政府全額出資で設立されました。(平成18年4月設立) 全国の相談窓口の情報がひとつになっていないために、情報にたどりつけなかったり、経済的な理由で弁護士・司法書士などの法律の専門家に相談ができない、近くに専門家がないといった問題があり、これまで司法は国民にとって使い勝手がよいとは言えないものでした。そこで、全国どこにいても「法的トラブルの解決に必要な情報やサービスの提供」を受けられるようにしようという考えを実現するために設立されました。

## 県立図書館と協力してできること

法テラス島根には、5人の常勤弁護士が常駐しており、利用者である国民に対し、民事法律事件、国選弁護事件のほか、司法過疎地における有償での法律サービスの提供を行っています。法テラスは法律問題で困っている方に、法的解決への「道しるべ」の存在になるよう努力しておりますが、まだまだ利用者が多いとは言えません。法テラス自身が制度の普及・啓発活動を活発に行い、県民の皆様にお役に立てる存在にならなければいけません。特に県立図書館と連携して、毎月の講演会を通じて、法テラスの業務内容を紹介させていただき、利用者アップにつなげて参りたいと思っております。

## 県民の皆さんへ

島根県も超高齢化を迎えており、高齢者・障がい者が抱える問題は、地域に関係なく都市部でも過疎地でも存在します。法テラスは平成25年度から一定期間、「高齢者・障がい者への法的支援」を法テラス全体で取り組むテーマに設定し、全国的に取り組んでおります。法テラスの正式な名前は「日本司法支援センター」といいます。少し長くて覚えにくいので、「法テラス」という愛称をつけました。「社会を明るく照らしたい」「陽当たりのよいテラスのような場所に」という思いが込められています。

県民の皆様から「よかった、法テラスを利用して」と言われるよう、今後とも県立図書館をはじめとした関係機関と連携を密に業務に取り組んでまいります。県民の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

### 法テラス島根

(日本司法支援センター島根地方事務所)

〒690-0884 松江市南田町 60  
Tel: 050-3383-5500 Fax: 0852-23-7802  
平日 9:00 ~ 17:00

### 法テラス・サポートダイヤル

(英語での対応可能)

Tel: 0570-078374  
平日 9:00 ~ 21:00 土曜 9:00 ~ 17:00

## あなたの学びたいことは何ですか？

専門家にきいてみたい、教えてほしいことを、ぜひ教えてください。皆さんに共通する課題に、図書館は取り組んでまいります。

最新のイベント情報は、行事予定表、ホームページ、メールマガジンなどを通じてお知らせしています。



## 団体・機関の方へ

### みんなが集う図書館を活用しませんか？

図書館は、子どもからお年寄りまで様々な人たちに気軽に利用されている、オープンな生涯学習施設です。「多くの県民に知ってもらいたい」と「県民の知りたい」をつなげる場として、図書館を使ってみませんか。

「県民の暮らしに役立ちたい」とお考えの団体・機関に、図書館は資料を活用して協力しています。

# あなたのまちの図書館めぐり

島根県立図書館の職員は、県内市町村の図書館などを各館年2～3回訪問して、スタッフの方に直接お会いして情報交換を行っています。その地域の特徴や暮らす人々を知り、島根県の図書館全体が活性化するよう、ネットワークづくりに努めています。

## 浜田市立中央図書館 「利用者と一緒に歩いていく図書館」



新館を待望されていた浜田市立中央図書館が、8月10日に開館しました。開館時には、ストーリーテラー・佐藤涼子氏の講演会や図書館まつりなど様々なイベントを催し、多くの来館者が訪れました。その後も順調に利用されており、11月の初めには来館者数8万人を記録するなど、大変にぎわっています。石見幼稚園・第一中学校・浜田高校と、図書館の周囲に学校が多いためか、全体の利用者の約4割が15歳以下で占められています。



幼児・児童図書コーナーは、茶色の書架に絵本や児童書が並び、おはなしのへやには可愛い動物の椅子が置かれて、子ども達がのびのびと利用できる部屋になっています。

一方、一般図書コーナーは白を基調とした書架が並び、明るい雰囲気を感じる部屋となっています。窓から暖かな日差しが入り、閲覧机の上には観葉植物が飾られ、心静かに読書のできる空間が作られています。

地域資料コーナーでは、貴重な地域雑誌のバックナンバーを並べ、なかなか入手できない資料を、いつでも手に取って読むことができますようにしています。

窓の外の開けた空間、天井の高さと、開放感を感じられる図書館です。

浜田市立中央図書館は数々の先進的なシステムを取り入れています。たとえば、予約者がカウンターに行かなくても予約図書を取り出せる予約棚です。カウン

ターに問い合わせなくても予約した図書を取ることができ、また、図書館の全蔵書にICタグを貼りつけて、自動貸出機・自動返却機などを導入しています。

さらに図書館ではiPadの館内貸出を行い、電子書籍を館内で閲覧できるようにするな

ど、新しい電子メディアを視野に入れて図書館作りをしています。専用の机にはLANシートをはめ込み、安定・高速・安全なインターネット環境を整備しています。

島田図書館長は、新しい技術を導入することで生まれる時間的なゆとりを、職員と利用者がコミュニケーションを取るためにあてていきたいと考えています。利用者の相談に乗ることで、図書館は利用者のニーズに応じた図書を増やします。そして利用者は、図書館とのコミュニケーションからより幅広い活用法を学んでいきます。



閲覧用iPadの置かれた机。下の黒い部分が無線LANシートです。



図書館の目玉の一つ、予約棚。脇にあるのが自動貸出機です。

### 【浜田市立中央図書館】

開館時間：9時～19時

休館日：毎月第2、第4月曜日、年末年始、図書館整理日

貸出：本・雑誌・AV資料合わせて10点まで2週間

(ただしAV資料は2点まで)

# 安来市立図書館 「ちょっと憩いに、図書館へ」

安来市立図書館は、開館当初から「滞在型図書館」を目指し、居心地の良さを追求してきました。

館内で目を引くのが、各所に置かれたおしゃれな椅子です。世界の有名デザイナーが手掛けた椅子は、どれも評価の高いものばかり。個性豊かな表情を見せる椅子は、眺めているだけでも楽しくなります。来館者のみなさんは、各々のお気に入りの椅子に座り、ゆったりとした時間を過ごしています。

1階の奥に向かうと、落ち着いた雰囲気の間読スペースが見えてきます。書架と机に囲まれた空間に窓から柔らかな光が射し込み、まるで書斎のよう。カウンター席で読書を楽しんだり、一枚板の重厚なテーブルで調べ物をしたりと、好きな空間を見つけて、自分の世界に浸ることができます。

庭に面したデザイナーズチェアスペースでは、数年前から春と秋にコンサートを開催しています。これまでのコンサートでは、地元縁のある演奏家を招き、バイオリン・ピアノ・フルート・マリンバなどの演奏やトークショーを行いました。図書館という空間の特徴を生かしたこのコンサートは、演奏家の近くで聴くのはもちろんのこと、演奏家から離れた書架の陰や、2階フロアなどから聴くと、様々な音の響きを楽しむことができます。閉館の30分前から始まるこのコンサートは、「子どもも大人も楽しめる」というコンセプトどおり、幅広い世代に人気を博しています。

日々の雑事から離れ、時を忘れてくつろげる。安来市立図書館は、そんな憩いの空間です。



【安来市立図書館】

開館時間：10時～20時（4月～9月）  
10時～19時（11月～2月）

休館日：水曜日、月末、年末年始  
貸出：20冊まで2週間

## 島根県中山間地域研究センター図書室

「～専門書から絵本まで～地域にひらかれた図書室」

山のふもとから頂上へと続く中山間地域。中国山脈のふところに抱かれた飯南町に、平成10年、全国初の中山間地域の総合研究機関として島根県中山間地域研究センターが開設されました。

こうした研究施設には、研究者に必要な専門書を備えた図書室（資料室）が設置されますが、ここで注目なのは、開設当初より一般住民に利用開放されているという点です。

開放にあたっては、地域研究や地域の産業についての実用書、子どものための図鑑や絵本、更に飯南町の記事が載った雑誌など、センターの特色と地域性、利用者層を意識した資料が選書されています。また、島根県の豊富な森林資源を生かした室内インテリアや、木の色目を生かしたパズルを置くなど、自然素材の良さがさりげなくPRされています。

こうしてこのセンターでは、研究施設でありながら、子どもを連れた若いお母さんや、農業・林業・畜産や獣害対策といった実用書を借りに来る近隣の人、専門書を利用している学生の姿が日常の風景となっています。

センターの基本方針の一つに『「住民主動」による地域づくりの支援』があります。図書室の在り方は、この方針を表しており、また、着実にセンターと地域住民が結びつく窓口となっています。



【島根県中山間地域研究センター図書室】

飯石郡飯南町上来島1207番地 TEL(代)0854-76-2025（平日）

開館時間：9時～17時

休室日：年末年始(12月29日～1月3日)

貸出：5冊まで3週間

# 調べ物のお手伝いいたします。

## 松江の獅子像、修復技術はどこから？

### Q

郷土資料室で受けた質問です。

「松江の田原（たわら）神社の児連れ獅子像の修理の際に使用した薬剤の名前が分かりますか。奈良国立文化財研究所から接着剤を分けてもらったと聞いたのですが…。」

### 1 まずは「田原神社」を検索！

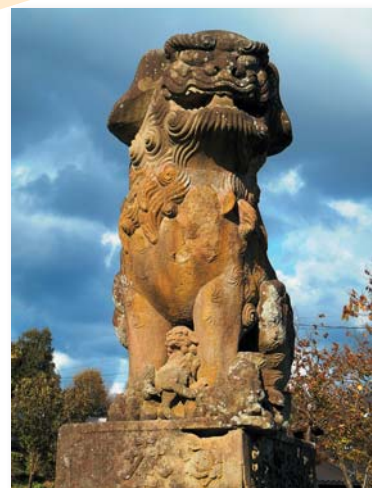
当館のOPAC（図書館の蔵書検索システム）を使用し、「田原神社」というキーワードで検索します。その中から、来待ストーンミュージアムの研究紀要である資料①にあたったところ、以下のことが分かりました。



…20年ほど前（1980年頃？）に児連れ獅子像の頭部の補修を行った際、奈良国立文化財研究所に修理方法を問い合わせたところ、スイスで開発された接着剤を紹介された。これは、エジプトのアスワン・ハイ・ダム建築の際に行われた、神像の分割移動で使われたものである。その接着剤を同研究所から分けてもらい、補修工事を行った…

### 2 いよいよ「接着剤」の真相に迫る！

①より、「エジプト」「アスワン・ハイ・ダム」といったキーワードが浮上りました。これを手がかりに、エジプトやアスワン・ハイ・ダムに関する資料、および接着剤に関する資料を調べます。



田原神社の児連れ獅子像

…◆ 今回の調べ物に使った本はこちら ◆…

- ①『来待ストーン研究 1』より「松江・田原神社の児連れ獅子像について」  
藤脇 久穂、岡崎 雄二郎／著（来待ストーンミュージアム 1998）
- ②『接着革命：接着剤100パーセント活用法』（芝崎 一郎／著 講談社 1982）
- ③『おもしろい接着剤のはなし』（本山 卓彦／著 日刊工業新聞社 1989）

## 市町村図書館を通して貸出します

すべての県民の皆さんに県立図書館の資料を利用してもらうため、市町村の図書館などを通して資料の貸出を行っています。

- ①県立図書館に求める資料があるかどうかは、インターネットの蔵書検索（県立図書館HP）や、電話での問い合わせまたはお近くの市町村図書館までおたずねください。
- ②借りたい資料が決まりましたら、お近くの市町村図書館（図書館未設置の4町村は中央公民館等）へお申し込みください。週1回市町村図書館等へ発送します。

〈お問い合わせ〉 資料サービス係（0852-22-5748）

# 図書館の上手な使い方

～司書にきいてみよう!編～



調査の結果、エジプトで用いられた接着剤は、**エポキシ樹脂接着剤**（スイス・チバ社製の接着剤「アラルダイト」）であることが分かりました。この接着剤を奈良国立文化財研究所から分けてもらい、田原神社の児連れ獅子像の補修が行われたようです。

## ・・・閑話休題 ～歴史に残る遺跡の大移動と、大活躍した接着剤のおはなし・・・

資料②および③より、奈良国立文化財研究所から教わった神像の分割移動は、エジプトのアブ・シンベル神殿で行われたものであることが分かりました。アスワン・ハイ・ダム建設にともなう水没を免れるため、1963年から5年半の歳月をかけて、アブ・シンベル神殿の解体移転工事が行われました。移転の際、神殿はこのござり1,041個に切り分けられ、貯水池の水面より60メートル上に運ばれた後に接合されたとのこと。この作業に用いられたのが、エポキシ樹脂接着剤でした。切断した神殿をクレーンで持ち上げるために、神殿に移動用の鋼鉄棒を打ち込むのですが、神殿は砂岩で構成されているために強度が弱く、鋼鉄棒をかなり深く打ち込まなければならなかったのです。移動による神殿の破壊を防ぐため、石塊に穴をあけてエポキシ樹脂モルタルを注入し、そこに鋼鉄棒を差し込んで固定した後にクレーンで持ち上げて運ぶという方法がとられました。また、石塊の補強や亀裂の補修にもエポキシ樹脂接着剤が使われ、最後に神殿の表面にエポキシ樹脂を塗って全体の補強が行われたそうです。



また、日本においても、奈良県の薬師寺において、昭和20年代に行われた月光菩薩の補修の際に、エポキシ樹脂接着剤が使われたとの記述がありました。

## 島根県に関する調べものは、郷土資料室をご利用ください。

郷土資料室では、島根県に関する資料を網羅的に収集しています。

また、皆様から日々寄せられる質問に迅速にお答えできるよう、資料に含まれる論文の表題や、内容に関するキーワードを、図書館システムに細かく登録しています。

## 図書館はあなたの「知りたい」に応えます。

### 読書普及指導員・親子読書アドバイザーを派遣します

保護者参観や職員・ボランティアの方の研修会等で、親子読書や読み聞かせの基本的な考え方やポイントなどお話しします。

#### 〈お問い合わせ〉

子ども読書支援係 (0852-22-6077)  
または、西部読書普及センター (0855-23-6785)

### 郷土資料収集のお願い

島根に関する資料（古いものも、新しいものも）を収集・保存しています。ご寄贈、情報の提供をお願いします。

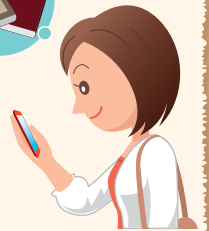
#### 〈お問い合わせ〉

郷土資料・調査係 (0852-22-5732)



## メールで調査依頼・相談ができます!

島根県立図書館では、様々な問題や課題を解決する支援として調査・相談 (レファレンス) サービスを行っていますが、このたびメールでの問い合わせができるようになりました。



ホームページにある

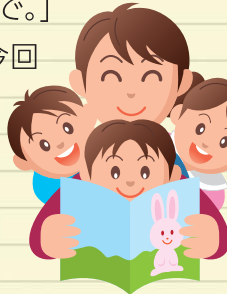
調べる・相談する  
(レファレンス)

をクリックし、専用フォームにてお申し込みください。



## 「読みメンパーク in しまね」が開催されました!

平成25年11月30日、「読みメンパーク in しまね」がくにびきメッセで開催されました。平成24年度から取り組んでいる乳幼児への読書普及事業「ねえ!この本よんで。」「読みメンプロジェクト」のイベントとして、今回2度目となります。NPO法人ファザーリングジャパンの安藤哲也氏の講演や絵本ライブをはじめ、絵本を楽しむ様々なブースが並び、多くの来場者でにぎわいました。



## 県立図書館建築45周年



島根県立図書館の現建物は、昭和30年代から40年代にかけて実施された「島根県庁周辺整備計画」の一環として、昭和43年10月に新築され、今年が建築45周年にあたります。設計は、建築界で世界的にも著名な菊竹清訓氏 (平成23年没) によるもので、建築の研究者や学生をはじめ多くの見学者があります。ご来館の際には、この建物にも注目してみてください。年末には耐震補強工事を行い、今後も大切に活用してまいります。

図書館の新築とともに創刊された「図書館だより」も今号で200号となりました。

# I N F O R M A T I O N

### 島根県立図書館 利用案内

- 開館時間/火 ~ 金 9時~19時 (3月~10月)  
9時~18時 (11月~2月)  
土日・祝日 9時~17時 (通年)
- 休館日/毎週月曜日 (祝日の時は開館)  
第1木曜、年末年始、特別整理休館

※詳しくは開館カレンダーをご覧ください。

※平成25年11月11日~平成26年1月4日は、耐震補強工事のため臨時休館します。

〒690-0873 島根県松江市内中原町52  
TEL. 0852-22-5725 FAX. 0852-22-5728  
ホームページ <http://www.lib-shimane.jp/>

人と人との縁結び 図書館だよりは、本を読む愉しみを味わえるビジュアル情報誌です。

島根県の、本・人・図書館にまつわる話題をお届けします。皆さんの「本のある暮らし」を応援します。

島根県立図書館報

図書館だより 第200号

平成25年12月10日発行

編集・発行/島根県立図書館



島根県立図書館イメージキャラクター  
ぶっくまくとしおりちゃん